専門性を磨き、同時に総合医の能力を高めていく
―― 厚みある研修プログラム

理念

地域に開かれたフィールドの中で、内科の代表的疾患を幅広く経験し、チーム医療を通じて、患者と地域のニーズに応えられるような、内科医の基礎をつくることを目標とする。

使命

本コースで養成する専門医は、病院での総合内科専門医、および、総合内科的視点をもったsubspecialistである。(地域医療における内科領域の総合診療医（かかりつけ医）は総合診療専門医コース、内科系初期救急医療の専門医は、救急専門医コースが望ましいが、各人の希望による)

いずれにおいても、患者を総合的視点からとらえられるように、内科各科の症例を過不足なく経験したうえで、各科専門医・多職種との連携を重視し、病院としての機能を円滑にすることを意識した研修を行う。

特徴

1.総合診療をしっかり学べる
2.専門的な研修も十分可能
3.希望に応じて臨機応変にプログラムを組める

積める経験

＊担当患者数：入院では常に10名前後の患者を担当
＊外 来 担 当 ：初診外来1単位/週 (1年以上担当)
　　一般内科、救急、総合内科外来を担当
＊J-OSLER：専攻医修了時には56疾患群、160症例達成

当院が連携する　専門研修プログラム一覧

プログラム名	基幹施設
京都民医連中央病院総合診療専門研修プログラム	京都民医連中央病院
京都家庭医療学センター専門研修プログラム	京都民医連あすかい病院
京都北部総合診療専門研修プログラム	京都協立病院 ※京都民医連関連病院
社会医学系専門医研修　京都プログラム	京都府、京都市、京都府立医科大学、京都大学
吉田病院　精神科専門研修プログラム	吉田病院
京都第一赤十字病院　救急科専門研修プログラム	京都第一赤十字病院
京都大学外科専門研修プログラム	京都大学医学部附属病院
滋賀医科大学　外科専門研修プログラム	滋賀医科大学医学部附属病院
滋賀医科大学　整形外科専門研修プログラム	滋賀医科大学医学部附属病院
京都医療センター整形外科専門研修プログラム	京都医療センター
京都府立医科大学産婦人科研修プログラム	京都府立医科大学附属病院
関西医科大学リハビリテーション科　専門研修プログラム	関西医科大学附属病院
京都大学リハビリテーション科専門研修プログラム	京都大学医学部附属病院
京都大学病理専門研修プログラム	京都大学医学部附属病院
京都府立医科大学泌尿器科専門研修プログラム	京都府立医科大学附属病院

公益社団法人 京都保健会
京都民医連中央病院
〒616-8147　京都市右京区太秦土本町2番1

厚生労働省指定基幹型臨床研修病院　救急告示病院
京都府がん診療推進病院　中京区認知症初期集中支援事業相談窓口

ISO 9001認証取得　JCEP 卒後臨床研修評価機構認定病院
日本医療機能評価機構認定病院
日本医療機能評価機構付加機能
在宅療養あんしん病院

【お問い合わせ】
京都民医連中央病院　医局事務課　（研修担当：宮本）
TEL：075-861-2220（代表）　FAX：075-861-2539
見学・お問い合わせお申し込み

京都市営地下鉄東西線
太秦天神川駅下車／徒歩14分
［病院直通シャトルバスを運行します］

市バス
70系統南太秦停留所前下車すぐ
梅津段町停留所下車／徒歩10分

京福嵐山本線
太秦広隆寺駅下車／徒歩10分

ここにしかない
人・学び・環境との
出会いがある。

内科専門研修プログラム

公益社団法人京都保健会　京都民医連中央病院

internal medicine

強い水平連携と横断的チームで貫く患者さん中心の医療

病院長 松原 為人
［専門］小児科／感染症科

当院では、内科各分野において標準的な医療の提供を行っており、それぞれの専門医・指導医のもとで内科の総合的な研修を行っていただくことができます。特に消化器内科分野、腎臓内科分野では幅広い疾患経験と技術研修が可能です。また、当院は院内の水平連携が非常に強く、各科間はもとより、各職種間の連携を強みとしています。横断的チームが加わり頑強なマトリクスを構築し、さらにはソーシャルワーカー等が加わり、患者さん目線で社会的処方を行い、患者中心志向を貫いて医療を行っています。

今日の医療の状況では、患者さんに対して身体的・心理的・社会的な課題を総合的に解決することが求められます。全人的医療のフィールドで内科としての知識・技術の研修を行っていただくことは、今後の医師としての成長に大きな力となるでしょう。

一人ひとりが志す医師へ熱い指導医がお手伝いします

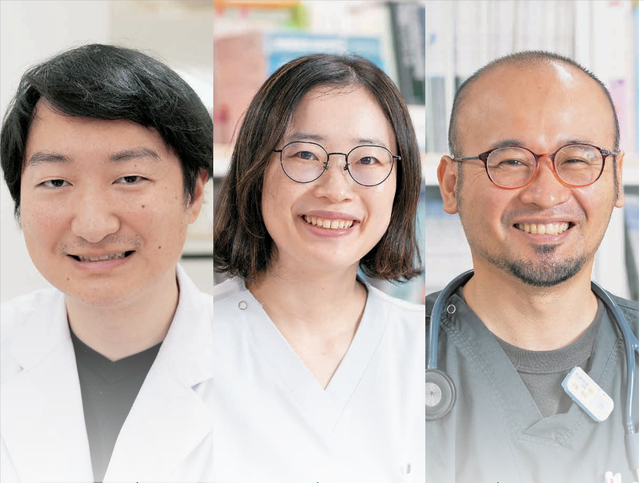
京都民医連
内科専門研修プログラム
統括責任者
副院長 井上 賀元
［専門］総合内科・腎臓内科
血液浄化・血液内科

京都民医連中央病院の研修プログラムは、内科の各サブスペシャル分野のあしがかりとなることはもちろん、よりジェネラルな視点を養うことで、内科医としての基礎をしっかりと作ることができます。

また、チーム医療のリーダーとしての役割を期待され、臓器別だけではない横断的分野でも活躍することができます。連携病院でのローテーションをつうじて様々な地域、文化に触れ、現代医療のかかえる問題点にとりくむ中で、医師としてのプロフェッショナリズムを深化、醸成させることができます。

プログラム自体は柔軟性に富んでおり、専攻医の希望を最大限尊重します。ひとりひとりが理想の医師像にちかづけるように熱い指導医がそのお手伝いをさせていただきます。

古都の地で、自らの医療の原点を形作ってみませんか。こころよりお待ちしています。



学会発表への
積極的支援体制
（旅費・参加費サポート）

女性専攻医が
安心して
勤務できるように
──女性専用休憩室、
更衣室、シャワー室
を整備

ON・OFFの
メリハリを明確に
ワークライフバランス
に対応した
労務環境を補償

見学・問い合わせ窓口

ご質問等あれば、簡単なものでも構いませんので、右下のQRコードより応募フォームにてお送りください。
見学を考えている方は、問い合わせ内容の欄に
「見学の申し込み」とご記載ください。

京都民医連中央病院　医局事務課（研修担当：宮本）

TEL：075-861-2220（代表）　FAX：075-861-2539

申し込みは
ホームページの
応募フォームから

患者さんを全人的に捉え、寄り添う医療

診療科の垣根を越えた
患者さん中心のチーム医療

プライマリ・ケアから
希少症例まで
──豊富な症例数

当院におけるチーム医療

民医連の一員として無差別平等の医療を提供し、地域のニーズに答えられるような組織づくりを目指しています。各臓器にとどまらず、SDH（Social Determinants of Health）や社会的背景を含め患者さんを全人的に捉え、退院後まで見据えた医療、ケアの実践を全職員で取り組んでおります。また、そのための多職種による各種学習会、症例検討会も定期的に開催しています。

［カンファレンスの種類・頻度］
総合内科カンファレンス●月曜日、木曜日11時
病棟カンファレンス●週1回
内科医局会議●月1回
全体医局会議●月1回
内科レクチャー●月1回

病棟
壁のないオープンタイプ

患者さん・ご家族の顔がよく見え、病棟を訪れるスタッフとの連携がとりやすくなっています。病棟詰め所には壁がなく、文字通り風通しのよい環境の下で患者さん、職員、ともに安心安全の医療が提供されています。総合内科の病棟では多種多様な背景をもった患者さんを診ることも多く、多職種で日々カンファレンスを行いながら患者さんにとっての最良の医療、環境調整を目指しています。

救急外来
二次救急として地域のニーズに応えます

日勤帯では常に2名以上（研修医除く）の医師が救急外来に勤務するよう配置されています。専攻医単独にならないよう、体制も調整されており、常に上級医にスムーズにコンサルできる状況にあります。
（救急外来1単位／週、当直3～4回程度／月）

充実したサポート体制・支援設備

J-OSLERレポート

内科専攻医に必要となるJ-OSLERのレポート登録作業がスムーズに行えるよう、サポートする各種支援体制を構築しています。

▶レポート登録単位
週1単位まで、レポート登録に専念する時間を確保することができます。その時間は各部署からの連絡も控えていただけます。

▶補助など
週1回集合形式でレポートに専念する時間が時間外にも用意されています（自由参加）。
参加すると軽食代として補助が付きます。

医師一人一台、電子カルテ用ノートパソコンの貸与

▶電子カルテ用のパソコンでネット接続可能
▶Up to dateへの無料アクセス可能
▶申請を行えば自宅での電子カルテ使用も可能
レポート登録時もカルテ内容を迅速に引用できます。

その他

▶研修に必要な図書室と院内Wi-Fiを用いたインターネット環境
▶医中誌、medical on-lineも利用が可能
▶代表的な洋雑誌については、on-lineでの閲覧が可能
▶医局に図書・文献検索専任の事務を配置
どのような文献も1週間以内にとりよせることのできる環境があります。

待遇・福利厚生

雇用形態　常勤医師
健康保険、労災、雇用保険、年金、共済

給与　3年次　437,100円
4年次　447,400円
5年次　457,900円（税込み・当直代別）
上記に加えて、家族手当、通勤手当、当直手当、残業手当など　賞与：年2回

休暇　4週8休制度、有給休暇、夏季休暇、年末年始休暇、その他
夏季休暇：3日　有休2日＋土日で実質9日取得可能
当直は病棟当直、救急当直の2種類を設けており、当直明けは内科救急は午前から休み、病棟当直は午後から休み

住宅　住宅手当
（12,000円：世帯主／一人暮らしの場合）

学会参加論文投稿　年に14万円までの学会参加費および交通宿泊費は病院が負担します。
発表者として参加する学会は、上記に加え年7万円まで病院負担です。
論文の投稿に要する費用については、年間3万円を上限として保証します。

学会年会費　施設要件を満たす専門医を有する場合は病院負担です。
また、各学会の専門医資格取得のための受験費用及び宿泊交通費を合否に関わらず2回まで支給します。

教育的であること、働きやすさが強みです

私はパートナーの医局派遣で京都に引っ越しました。子育てに理解があり、教育的なところを探しており、知人より、京都で専攻医研修するならばここだよ！と以前から聞いていたこともあり、当院を選択しました。

所属する腎臓内科は育児の話に関してタブー感はなく、男性・女性医師ともに育児の話ができ、手技も多く教えて頂き、感謝しかありません。病院自体も背景が多様な医師が多く、皆さん批判的でなく、相談もしやすい雰囲気が多いです。

専攻医／腎臓内科
小嵐　優（こあらし　ゆう）

ぜひ一緒に働きましょう

京都民医連中央病院では内科専門医取得に加え、循環器、消化器、呼吸器、腎臓、神経といった様々なサブスペシャリティの取得が可能です。私自身は総合内科に所属し、日々内科専門医取得に向けて精進しておりますが、専攻医1年目からサブスペシャリティを意識した研修も可能です。このように、柔軟に研修内容を決めることができるのが当院のプログラムの特徴です。ぜひ一度見学に来てください。

専攻医／総合内科
津島　祐斗（つしま　ゆうと）

コンサルトがしやすい環境です

初期研修を当院で終了し、そのまま専門研修プログラムに進みました。

診療科の垣根がなく、ドクター同士が気軽に相談しあえる環境が貴重だと思い当院での研修を決めました。現在腎臓内科専門医を目指して研修中ですが、腎臓内科は若手の先生も多く、外来診療からシャント手術まで幅広い経験ができることを魅力だと感じています。

ぜひ見学に来ていただいて、雰囲気や実際に専攻医が働いている様子など見ていただければと思います。

専攻医／腎臓内科
青木　裕樹（あおき　ゆうき）

研修スケジュール

A医師の場合

	連携PG	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	2022	土庫病院（消化器・総合）											
2年目	2023	滋賀県立総合医療センター（腎臓）											
3年目	2024	当院（腎臓）											

B医師の場合

	通常PG	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	2022	土庫病院（消化器・総合）						京都協立病院			当院（総合）		
2年目	2023	当院（総合・消化器）						京都大学医学部附属病院（消化器）					
3年目	2024	当院（消化器）											

連携関連施設

当院基幹プログラムでは、シーリング対象外地域での6ヶ月以上の研修、連携施設での12ヶ月以上の研修を要します（上記重複可）

専門病院
専門的な医療が学べる
●京都大学医学部附属病院
●京都府立医科大学附属病院
●京都医療センター
●京都市立病院
●滋賀医科大学附属病院（滋賀県）
●大津赤十字病院（滋賀県）
●札幌医科大学附属病院（北海道）
●滋賀県立総合病院（滋賀県）
【腎臓内科】
●京都桂病院【腎臓内科】

特別連携施設
診療所での外来や訪問診療が経験できる
●太子道診療所
●春日診療所
●上京診療所
●吉田病院（奈良県）
●おかたに病院（奈良県）

地域密着型
地域医療が学べる
●京都民医連あすかい病院
●京都協立病院
●吉祥院病院
●耳原総合病院（大阪府）
●土庫病院（奈良県）
●和歌山生協病院（和歌山県）